

# Spain



語学力が急成長し、海外への「心の壁」もなくなる。

1年次で参加した3週間の海外実習では、大学で学んだスペイン語が現地ですぐに通用するか、挑戦してみたいと思い参加しました。訪れたスペインのラリオハ地方は世界的に有名なワインの生産地で食文化も豊か。バルでは地元の人々が私たち日本人に気軽に話しかけてくれ、その陽気さからスペインらしさを感じました。街角で買い物や食事をする際に、学んだスペイン語が通じた時はうれしく感じ、通じない時のくやしさを学びへのさらなる意欲

になりました。帰国後も、語学面に大きく成長したと感じる手ごたえがありました。授業ではネイティブスピーカーの話が格段に理解できるようになり、また、サッカーが趣味の私は、好きな選手のスペイン語のツイートが今までよりずっと読めるようになりました。留学を経験して、海外に対する「心の壁」がなくなったと思います。語学力を活かしてスポーツに関わる仕事がしたいという夢も見えてきました。今度は南米への長期留学を実現する予定です。

ヨーロッパ言語学科 スペイン語専攻2年 鈴木 拓海さん  
スペイン/ラリオハ大学(スペイン語海外実習)1年次留学

# イベントや国際交流も活発

留学への一歩を先輩がサポートする「留学祭」。

京都産業大学では、年2回「留学祭」を開催。留学経験のある学生や交換留学生が留学生アドバイザーとして、留学の不安や相談に応え、母語と日本語で留学の魅力やその国の特徴も紹介しています。



留学生のサポートや語学学習など、キャンパス内で国際交流。

- バディ制度**
- ランゲージ・エクスチェンジプログラム**
- I-House アシスタント**

海外からの留学生の大学生活を、日本人の学生がサポートする制度です。

日本人学生と留学生が互いに母語を教え合うプログラムです。

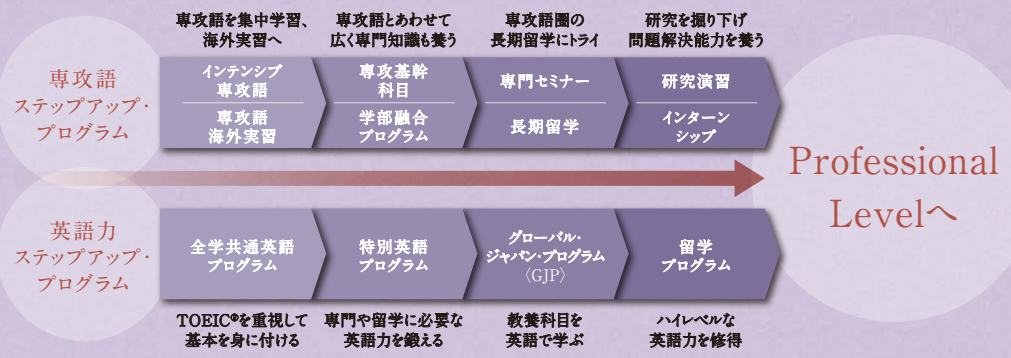
留学生寮である国際交流会館(I-House)では、留学生と一緒に生活ができます。



# 外国語を学ぶ、世界で学ぶ。

私大トップクラスの10専攻語。英語力とあわせて段階的にレベルアップ。

京都産業大学では、私立大学トップクラスの10専攻語を設けています。高度で実践的な専攻語の運用能力を養います。あわせて、大学卒業時に多くの企業が求める英語を全学科の副専攻語と位置づけ、4段階のプログラムを提供。4年間でトライリンガル(専攻語+英語+日本語の三言語話者)をめざすことも夢ではありません。



「あたりまえ」はない、ロシアで学んだグローバルな思考。

約1年間留学したのは、国際色豊かなロシアの街。ロシア人はもちろん、ヨーロッパ、中東やアフリカ、アジアなどの学生が学んでいて、交流する機会が豊富でした。ロシア語の学習だけでなく、日本ではなかなか知ることができない、イスラム教をはじめとする各国の食文化に触れ、ロシアの政治情勢に影響を与える民族問題を知り、国際社会を自分の目で見ることができました。こうした経験から手に入れたのは「柔軟な考え方」です。「あたりまえ」や「普通」は世界には存在しないことを知り、物事をいろいろな角度から見られるようになりました。もうひとつ留学で手に入れたのは「バイタリティー」です。留学中に訪れたロシアの一大都市エカテリンブルグで親日家が多くいることを知りました。それが縁となり、帰国後、日露青年交流センターと協力して、エカテリンブルグで日本語を勉強する人々と日本人の交流事業を自ら企画。秋にもう一度ロシアを訪れるのが楽しみです。

言語学科 ロシア語専修 (現 ヨーロッパ言語学科 ロシア語専攻)4年 高橋 美音さん  
ロシア/国立プーシキン記念ロシア語大学(派遣留学)3年次留学



めざそう、トライリンガル